

# 令和6年度第1回地域公共交通活性化協議会 会議次第

日 時 令和6年5月27日(月)午後15時00分から午後17時00分  
場 所 市民会館 萌え木ホール A会議室

## 1 はじめに

- ① 地域公共交通活性化協議会条例の改正について …資料1

## 2 議題

- ① 今回の会議内容と前回会議での指摘と対応 …資料2・3  
② 目標達成のための施策・事業 …資料4  
③ 達成状況の指標 …資料5

## 3 報告

- ① 令和5年度公共交通事業者支援金の報告について …資料6  
② 令和5年度C o C oバス利用実績等について(速報) …資料7

## 4 その他

## 5 閉会

### [配布資料]

- ・ 資料1 小金井市地域公共交通活性化協議会条例
- ・ 資料2 今回の会議内容
- ・ 資料3 令和5年度第3回地域公共交通活性化協議会での指摘と対応
- ・ 資料4 目標達成のための施策・事業
- ・ 資料5 達成状況の指標
- ・ 資料6 小金井市公共交通事業者継続支援金事業実施状況について
- ・ 資料7 令和5年度C o C oバス利用実績等について(速報値)
- ・ 参考1 目標・施策と指標の対応表
- ・ 参考2 CoCoバス便り vol.4
- ・ 席次表

※当日配布

## 小金井市地域公共交通活性化協議会条例

## (設置)

第 1 条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第 5 条の規定による地域公共交通計画（以下「地域公共交通計画」という。）の作成及び実施に関し必要な協議を行うとともに、道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）第 9 条第 4 項及び道路運送法施行規則（昭和 26 年運輸省令第 75 号）第 4 条第 2 項の規定に基づく地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な協議等を行うため、小金井市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を置く。

## (所掌事項)

第 2 条 協議会は、次に掲げる事項を協議する。ただし、第 5 号に掲げる事項の協議は、第 7 条第 1 項の運賃部会において行う。

- (1) 地域公共交通計画の作成及び変更に関する事項
- (2) 地域公共交通計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (3) 地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様に関する事項
- (5) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の運賃・料金等に関する事項
- (6) 市が運営する有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (7) その他地域公共交通に関し必要な事項

## (組織)

第 3 条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者 1 人以内
- (2) 公共交通事業者等の関係者 11 人以内
- (3) 関係行政機関の職員 4 人以内
- (4) 市内に在住、在勤又は在学している 18 歳以上の者 9 人以内
- (5) 市内の福祉関係団体の推薦する者 2 人以内
- (6) 市の職員 2 人以内
- (7) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

2 前項第 4 号の委員は、公募によるものとする。

## (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日の属する年度の翌年度の末日までとする。  
ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長が決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開する。ただし、公開することにより公正かつ適正な議事運営に支障を来すと認められるときは、協議会に諮って会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(部会)

第7条 協議会は、道路運送法第9条第4項の規定に基づき乗合旅客運送の運賃・料金等について協議を行うため、運賃部会を置く。

2 協議会は、前項に掲げるもののほか、第2条各号（第5号を除く。）に掲げる事項について協議等を行うため、必要に応じて部会を置くことができる。

3 部会の委員は、委員のうちから会長が指名する。

(協議結果の取扱い)

第8条 協議会において協議が調った事項については、委員はその協議の結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域公共交通を所管する部課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和 5 年 6 月 1 日から施行する。

(準備行為)

- 2 第 3 条第 1 項の規定による委員の委嘱又は任命に関し必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

(特別職の給与に関する条例の一部改正)

- 3 特別職の給与に関する条例（昭和 3 1 年条例第 2 2 号）の一部を次のように改正する。

別表第 3 中

「

|          |     |    |              |
|----------|-----|----|--------------|
| まちづくり委員会 | 委員長 | 日額 | 1 1, 0 0 0 円 |
|          | 委員  | 日額 | 1 0, 0 0 0 円 |

」

を

「

|              |     |    |              |
|--------------|-----|----|--------------|
| まちづくり委員会     | 委員長 | 日額 | 1 1, 0 0 0 円 |
|              | 委員  | 日額 | 1 0, 0 0 0 円 |
| 地域公共交通活性化協議会 | 会長  | 日額 | 1 1, 0 0 0 円 |
|              | 委員  | 日額 | 1 0, 0 0 0 円 |

」

に改める。

付 則（令和 6 年 3 月 2 5 日条例第 1 2 号）

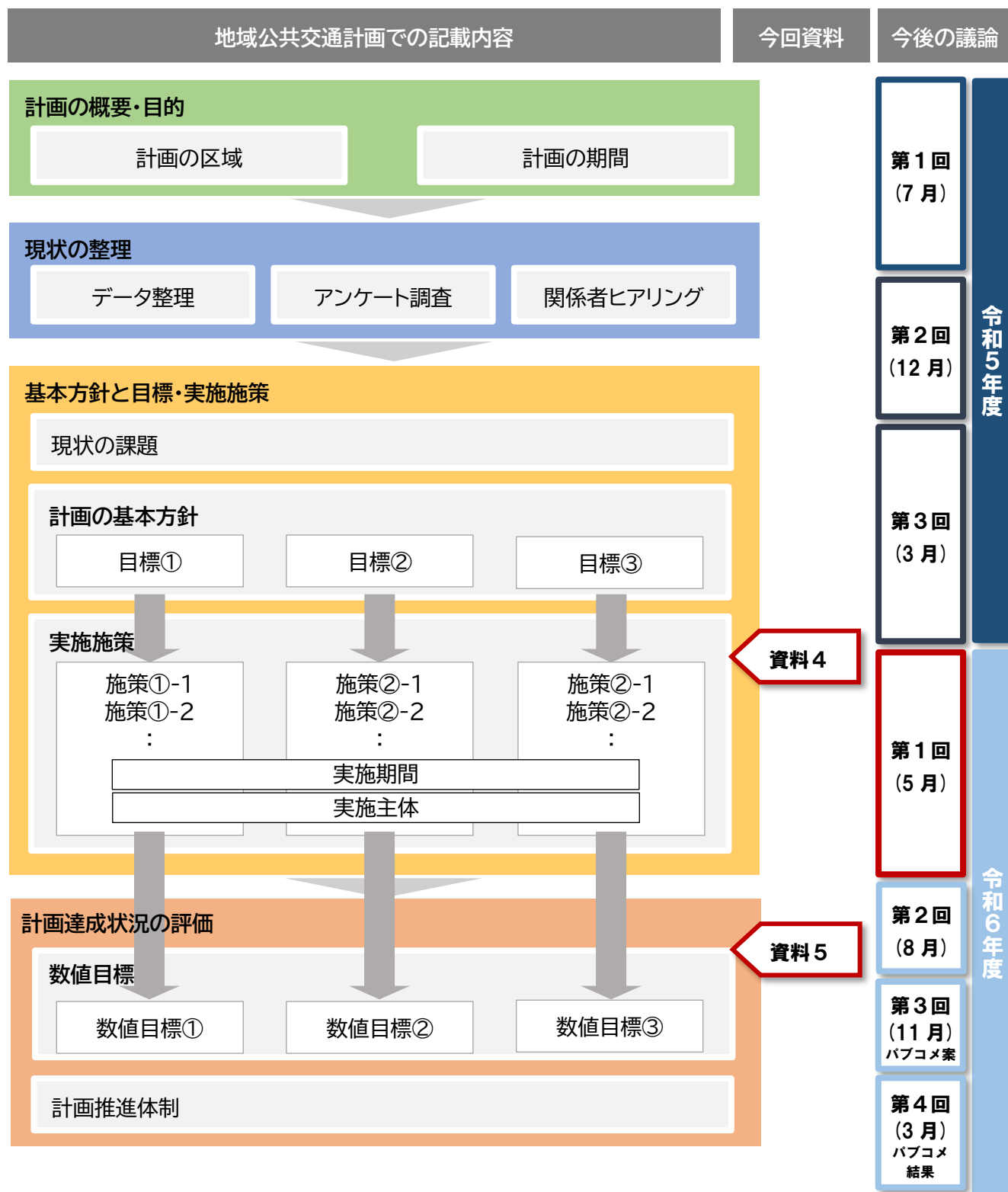
この条例は、公布の日から施行する。



## 今回の会議内容

### 1 地域公共交通計画の構成

地域公共交通計画での記載事項と検討時期・今回の資料との対応は以下のとおりです。



## 第 3 回協議会 ご指摘と対応

## (1) 基本方針と目標について

|   | ご指摘                                                                                     | 発言者  | 対応                                                                   |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 交通結節点や新たな拠点というのは一般の方にはわかりにくいいため丁寧に説明したほうがよい。                                            | 永田委員 | 乗り継ぎ・乗り換え拠点等表現を変えて記載する。また説明ではわかりやすいように記載する。                          |
| 2 | 目標 4 については、どう導入していくか、そのステップをよく詰めないと、わかりにくいため検討してほしい。                                    | 永田委員 | 新たな技術について具体的な導入方針やそのステップを具体的に記載するのは難しい。調査・研究をしながら今後ステップを検討することを記載する。 |
|   | 目標達成のための施策・事業のところで手法を書き込むとよい。                                                           | 鈴木会長 |                                                                      |
| 3 | バスとバスの乗り継ぎは、馴染みがない部分であり P R をお願いしたい。                                                    | 秦野委員 | バスの乗り継ぎ抵抗を減らすことができるよう、情報提供等を行うとともに、市民、利用者に周知する施策の検討を行う。              |
| 4 | 乗り継ぎ効率化のためにも定時性が重要だが、武蔵小金井駅北口はバスの待機スペースがなく、定時性が悪い面がある、再開発ではバスや利用者の待機スペースの拡大を考慮していただきたい。 | 秦野委員 | 課題として受け止める。                                                          |
| 5 | 利便性を上げるのであれば乗り継ぎ運賃の割引制度などを議論してよいのではないか。                                                 | 永田委員 | 関係する事業者・自治体が多く本計画で明確な方針・施策まで示すのは難しい。今後、関係機関と情報共有等しながら検討していく。         |
|   | 同業他社でも似たようなサービスを開始しており、将来的にはできるかなと思っている。                                                | 秦野委員 |                                                                      |
|   | 運賃面、労力の問題など乗り継ぎ抵抗を少なくすることで乗り継ぎを伴うネットワークを定着させていくというところは書き込んでいく必要がある。                     | 鈴木会長 |                                                                      |

## (2) 目標達成のための施策・事業について

|   | ご指摘                                                     | 発言者  | 対応                 |
|---|---------------------------------------------------------|------|--------------------|
| 6 | いま掲載されている施策の具体例は小金井市にはそぐわなそうなものあり、市に合った事例を載せるとイメージしやすい。 | 青木委員 | 小金井市に沿うような事例に変更する。 |

|    | ご指摘                                                                                                            | 発言者   | 対応                                                                      |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|
| 7  | シェアリングサービスをどう位置づけるかを考えた上で、それに合う事例を選んで載せたほうがイメージが付きやすい。                                                         | 青木委員  | 協定等を締結しながら利用ニーズ等に応じて公共施設等に設置していくことを考えている。                               |
| 8  | C o C oバスだよりを町内会に配ってほしい。                                                                                       | 平野委員  | 回覧板等での配布は難しい。引き続き主要施設への設置等を行う。                                          |
| 9  | 東小金井駅北口にイスをつけてほしい。                                                                                             | 平野委員  | 区画整理の状況を見ながら引き続き関係部署と連携をとる。                                             |
| 10 | 各停留所でベンチを置いてほしい。                                                                                               | 平野委員  | 広い歩道がないと置けない状況である。<br>駅前広場等の対応が可能な箇所での検討とする。                            |
| 11 | 車いすの方への手伝いについて、何ができるのかわかっておらず手が出せない感覚もあるので、どのように手伝えるのかといったアナウンスや張り紙をすればどうか。                                    | 小田切委員 | バス事業者と対応を検討する。                                                          |
| 12 | 高齢者の移動に関して補助サービスがあれば、武蔵小金井駅の南口と北口のバスの乗り換えに対応できる。乗り継ぎについてどう考えるか整理したほうがよい。                                       | 永田委員  | 情報提供やサイン等によりわかりやすさの向上を図ることとする。                                          |
|    | 南北の乗り継ぎは人の動線にサインやインフォメーションがあればカバーされるので今後の施策で考えていく必要がある。                                                        | 鈴木会長  |                                                                         |
| 13 | 福祉施設で働いており、利用者から行き方を調べてという要望をよくいただくため、効率的な移動方法のチラシは導入してほしい。可能であればいろいろな障害のある方が利用可能で、また市外への移動ニーズも考慮して作りを検討してほしい。 | 八木委員  | 小金井市での対応としては、主要施設への公共交通での行き方案内等でまずは情報提供等を充実させることを考える。                   |
| 14 | 移動の検索アプリで、車いす、高齢者、ベビーカー使用など条件を入れるとアウトプットが変わるといったことができるかと様々な条件を考慮した課題が見えてくるのではないかと。                             | 若藤委員  | (参考：交通エコロジー・モビリティ財団にてらくらくお出かけネットという検索サービスの提供があり、車いすを利用し鉄道に乗車する場合の検索は可能) |

|    | ご指摘                                             | 発言者  | 対応                                                              |
|----|-------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------|
| 15 | ＣｏＣｏバス東町循環の10番、11番バス停を増設して、以前と比べ利用者の増減はどうなったのか。 | 平野委員 | 令和4年度の4月から10月の乗車人数は93%。運賃の変更の影響があるのか他の路線も95%前後。今後の利用の状況を見ていきたい。 |
| 16 | ＣｏＣｏバスの交通整理は一般車両には指示してもらえないのか。                  | 佐藤委員 | 運行事業者から CoCo バスの運行のための交通整理を委託している状況である。                         |

## 4 章 | 基本方針と目標

### 1 基本方針

小金井市の交通に関する 4 つの課題の整理を踏まえ、小金井市の地域公共交通のあるべき姿として、以下の通り、基本方針を設定しました。

#### 基本方針：

誰もが自由に選択できる

地域公共交通を、

みんなで守り育てるまち

### 2 計画の目標

地域公共交通のあるべき姿を実現するために、小金井市で取り組むべき事項として 4 つの目標を設定しました。

#### 目標 1

持続可能な地域公共交通ネットワークを確保します

#### 目標 2

安全・安心で快適に移動できる環境をつくれます

#### 目標 3

地域の魅力向上のために  
移動に便利なまちの拠点をつくれます

#### 目標 4

新たな技術等の効果的な活用に向けた  
検討を行います

## 5 章 | 目標達成のための施策・事業

設定した4つの目標を達成するため、実施すべき施策と事業（案）を以下に示します。

| 事業 | スケジュール |    |    |     |     |     |     |     |
|----|--------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
|    | R7     | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |

### 目標1 持続可能な地域公共交通ネットワークを確保します

#### 施策1-1 持続可能な公共交通ネットワークの構築

|                         |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①路線バスのネットワーク維持・改善に向けた連携 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②地域の多種・多様な移動手段の連携       |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③公共交通の現状に関する情報発信        |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策1-2 コミュニティバスの効果的な活用

|                       |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①CoCo バスガイドラインの継続的な運用 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②CoCo バスだよりの発行        |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③CoCo バスサポーターの導入検討    |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策1-3 公共交通不便地域への対応

|                            |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①移動に関する情報提供                |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②タクシー等の有効活用に向けた新たな制度の調査・研究 |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策1-4 公共交通の利用促進

|                    |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①公共交通利用の啓発         |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②運転免許返納後の公共交通利用促進  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③多様な世代に向けた公共交通利用促進 |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策1-5 公共交通の担い手不足への対応

|                   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①運転士不足の現状と課題の情報発信 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②運転士確保についての働きかけ   |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 目標2 安全・安心で快適に移動できる環境をつくります

#### 施策2-1 移動環境の改善

|                          |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①鉄道のバリアフリー化・安全確保の促進      |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②主要バス停でのバス待ち環境の改善        |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入促進 |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策2-2 公共交通利用マナーの向上

|               |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①心のバリアフリーの推進  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②バス車内環境の改善    |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③交通ルール・マナーの向上 |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策2-3 情報提供の充実化

|                |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①リアルタイム運行情報の提供 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|

|                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ②公共交通マップの更新     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③移送サービス情報の集約、周知 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策2-4 歩行空間・自転車利用環境の形成

|                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①無電柱化事業と合わせた歩道の補修、改善          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②自転車総合計画の策定による走行空間の確保、安全利用の推進 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 目標3 地域の魅力向上のために移動に便利なまちの拠点をつくります

#### 施策3-1 乗り継ぎ・乗り換え機能の強化

|                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①乗り継ぎ・乗り換え拠点の整備             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②駅前広場の維持・管理                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③地域の乗り継ぎ拠点の設置検討             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【再掲】施策1-3 ①移動に関する情報提供       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【再掲】施策2-1 ②主要バス停でのバス待ち環境の改善 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【再掲】施策2-3 ①リアルタイム運行情報の提供    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【再掲】施策2-3 ②公共交通マップの更新       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策3-2 乗り継ぎ・乗り換え拠点における情報提供の充実化

|                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①駅や主要バス停でのわかりやすい情報提供 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②多様な主体への案内機能の強化      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 目標4 新たな技術等の効果的な活用に向けた検討を行います

#### 施策4-1 新技術の活用に向けた検討

|                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①新技術の活用に備えた関係者協議の場づくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②民間資源の活用・連携           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策4-2 シェアモビリティの適切な活用

|                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①既存公共交通との役割分担の上での利用促進 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②安全利用の促進              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策4-3 環境にやさしい車両の導入支援

|                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①環境にやさしい車両の導入支援 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②充電・充填施設の整備支援   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 施策4-4 公共交通に関するオープンデータのまちづくりへの活用

|                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ①オープンデータ化の促進              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ②まちづくりへの活用に向けたデータ収集・活用の検討 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 目標 1 持続可能な地域公共交通ネットワークを確保します

### 施策 1－1 持続可能な公共交通ネットワークの構築

小金井市の公共交通ネットワークは、鉄道・路線バスを中心として、コミュニティバス・タクシー等で形成されています。今後も公共交通サービスを維持していくため、各交通手段の連携を進め、限られた資源を最大限活用しながらネットワーク全体の効率化と利便性の確保を図ります。

| ①路線バスのネットワーク維持・改善に向けた連携                                                                                                                                                         |             |    |    |     |     |     |     |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>小金井市内を運行する路線バスは、各バス事業者との連携によりネットワークの維持・改善に取り組んでいます。</li><li>周辺自治体と接続する路線が多くを占めることから、情報発信やイベントの相互開催等により、周辺自治体との路線維持等に向けた連携を行います。</li></ul> |             |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                            | 市           |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                         | バス事業者・周辺自治体 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                          | R7          | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                 | 検討中         |    |    |     |     |     |     |     |

| ②地域の多種・多様な移動手段の連携                                                                                                                                          |                  |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>既存の公共交通（鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー）を軸として、福祉輸送やシェアリングサービス、民間の移動サービスなどの地域の多種・多様な移動手段との関係性を整理した上で、適切な連携と役割分担を図ります。</li></ul> |                  |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                       | 市                |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                    | 交通事業者、民間・福祉輸送事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                     | R7               | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                            | 検討中              |    |    |     |     |     |     |     |

| ③公共交通の現状に関する情報発信                                                                                                                               |             |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>公共交通の利用状況や公費負担の現状に関して、定期的なモニタリングを行います。</li><li>結果は市ホームページやイベントにて発信し、市民と公共交通のあり方を共に考えるきっかけとします。</li></ul> |             |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                           | 市           |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                        | バス事業者・周辺自治体 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                         | R7          | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                | 検討中         |    |    |     |     |     |     |     |



## 施策1-2 コミュニティバスの効果的な活用

小金井市コミュニティバス「CoCo バス」は、導入から20年が経過しました。平成30年度から再編事業に取り組み、交通状況や市民ニーズの変化、地域課題等を踏まえて「小金井市コミュニティバス「CoCo バス」再編計画（R4.8）」を策定し、一部路線のルート変更及び運賃体系の変更を行い、令和5年4月から再編運行を開始しています。

今後は再編後のCoCoバスの基本方針に基づいて、地域住民・バス事業者・市が協働して守り、育てる取組を継続することで、地域と心の通うバスとして愛着をもっていただき、効果的に活用されることを目指します。

| ①CoCo バスガイドラインの継続的な運用                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>「CoCo バス運行ガイドライン（R4.8）」では、運行の見直しを検討する際の基準、かつ地域住民や利用者の方が利用状況を把握し、より利用を促進するための基準となる「運行継続基準」を再編後2年が経過した後に設定することとしています。利用の定着や社会情勢を注視しつつ、ガイドラインの改定により具体的な数値を設定します。</li><li>CoCo バスの利用状況の定期的な評価を行い、利用状況や収支状況について市民へ情報を共有することで、CoCo バスのあり方を共に考えるきっかけとします。</li><li>ガイドラインで設定した基準指標（運行にかかる収支状況及び利用者数）が運行継続基準を下回った場合は、市・地域住民にて見直し検討を行います。また、新規路線の導入や既存路線の変更が必要な場合は、「運行基準」に考慮して検討を行います。</li></ul> |            |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 市          |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 地域住民・バス事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | R7         | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 検討中        |    |    |     |     |     |     |     |

| ②CoCo バスだよりの発行                                                                                                                                                                                                                                      |     |    |    |     |     |     |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>CoCo バスの利用者増加に向けて、CoCo バスを利用したい気持ちを醸成するため、CoCo バスの利用方法や立ち寄りスポット、収支状況等を掲載した「CoCo バスだよりの発行」を行います。</li><li>市ホームページの他、CoCo バス車内や市の出先機関、回数券販売所で配布することで、CoCo バスを日常的に利用していない方や来訪者に対しても CoCo バスの魅力の発信を行います。</li></ul> |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                                                                                | 市   |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                                                                             | —   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                                                                              | R7  | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                                                                                     | 検討中 |    |    |     |     |     |     |     |

| ③CoCo バスサポーターの導入検討                                                                                                                           |       |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民・バス事業者・市のそれぞれが過度な負担なく持続可能なサービスを提供することを目的として、CoCo バスを応援したい気持ちを醸成するために、バスサポーターの導入を検討します。</li> </ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                         | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                      | バス事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                       | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                              | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

### ＝バスサポーターの導入事例（千葉県市川市）＝

市川市では、わくわくバス（市川市コミュニティバス南部ルート）の車内に、沿線の保育園園児が描いた絵を飾っています。

また、市の運行負担額を縮減するとともに、地域の方にコミュニティバスを支えていただくことも必要との考えから、協賛制度（寄附）の募集も行っています。

出典：市川市ホームページ「わくわくバス（市川市コミュニティバス南部ルート）に絵を飾りました」「コミュニティバスを応援してください」より作成

車内に絵が掲示されている  
様子を掲載予定

### 施策 1-3 公共交通不便地域への対応

小金井市は市域のほとんどが公共交通でカバーされていますが、道路状況等により公共交通不便地域として残っている箇所や、坂による高低差などからアクセスが不便な地域・施設が残っている状況です。

このような地域や施設の移動を支援するため、乗り継ぎや乗り換えのハードルを下げる情報提供や、個別移動ニーズに対応した新たな制度の活用を検討します。

| ①移動に関する情報提供                                                                                                                                                                                                                                          |            |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通での移動が難しい地域や施設からの移動に関して、市内の公共交通を中心に、近くのシェアサイクルポートの周知など、多様な交通手段を組み合わせた効率的な移動方法についての情報提供を行います。</li> <li>関連団体との連携により、公共施設や病院など、公共交通利用者の移動ニーズが高い施設を抽出し、最寄りの鉄道駅や主要なバス停からの移動について、わかりやすい案内情報を作成し提供します。</li> </ul> |            |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                                                                                 | 市          |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                                                                              | 交通事業者・関連団体 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                                                                               | R7         | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                                                                                      | 検討中        |    |    |     |     |     |     |     |

| ②タクシー等の有効活用に向けた新たな制度の調査・研究                                                                                                         |       |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>個別移動を担うタクシーの有効活用に向けて、必要に応じて関係者協議の場を設けます。</li> <li>また、ライドシェアの解禁等新たな制度の調査・研究を行います。</li> </ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                               | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                            | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                             | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                    | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

### = 効率的な移動方法のチラシの作成（三重県名張市） =

名張市では、「ここから出るバスがどこに行くのかわからない」、「たくさんの種類のバスが出ていてどのバスに乗ればいいのかかわからない」というお悩みを少しでも解消するために、市内の主要な施設を結ぶ行き先別の市内のバス（三重交通、コミュニティバス）の時刻表を作成しています。

市役所から買い物施設までのバスの時刻表など  
施設間の移動方法を示す事例を掲載予定

出典：名張市ホームページ「主要施設に向かう行き先別時刻表（令和6年4月更新）」

## 施策 1 - 4 公共交通の利用促進

新たな生活様式や価値観の定着により、公共交通の利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大前より減少傾向にあります。公共交通ネットワークを維持していくためには、公共交通を利用していただき、地域の移動手段として守っていくことが必要となります。

また、公共交通を利用することは温暖化の防止など地球環境の保全にも寄与し、持続可能な社会をつくることにもつながります。

市内を移動する多様な世代、様々な考え方や特性を持つ方々に応じた公共交通利用の啓発を行うことで、公共交通を利用する意欲を醸成することを目指します。

| ①公共交通利用の啓発                                                                                                                                        |            |    |    |     |     |     |     |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>公共交通を利用した外出の促進や、マイカーから公共交通・自転車などの利用への自発的な転換を促進するため、公共交通の利用方法だけでなく、利便性やメリットを合わせて伝えるチラシやポスターを作成します。</li></ul> |            |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                              | 市          |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                           | 交通事業者・関連団体 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                            | R7         | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                   | 検討中        |    |    |     |     |     |     |     |

| ②運転免許返納後の公共交通利用促進                                                                                                                                        |                          |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>高齢者の運転免許自主返納を推進するとともに、包括支援センターや運転免許センター等と連携し、運転免許証返納前後の高齢者に対して、路線バスの乗り方講座の開催など公共交通を利用しやすくするための情報提供を行います。</li></ul> |                          |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                     | 市                        |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                  | 交通事業者・包括支援センター・運転免許センター等 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                   | R7                       | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                          | 検討中                      |    |    |     |     |     |     |     |

| ③多様な世代の公共交通利用促進                                                                                                                                                                                                                                                  |       |    |    |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>多様な世代の市民や来訪者に対して公共交通の利用を促すためには、イベント等の集客を利用して、情報提供を行うことが有効です。交通事業者と連携し、公共交通イベント「こがねい★バスフェス」を継続的に実施します。</li><li>また、「こがねい★バスフェス」やその他イベントと連携し、グッズ配布と合わせた CoCo バス一日乗車券の販売、専門家によるバスの乗り方講座、ベビーカーでのバスの乗り方講座などの情報発信を行います。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                                                                                             | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                                                                                          | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                                                                                           | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                  | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

## = 公共交通利用の啓発事例（千葉県千葉市） =

千葉市では、市民が地球環境に配慮したライフスタイルへの転換を図るとともに、環境保全に対する理解を深めることを目的として、「ちばしエコライフカレンダー」を配布しています。また市内への転入者などを対象に、公共交通利用のメリットをまとめたリーフレットを配布しています。

### ■ ちばしエコライフカレンダー（左）、転入者向け公共交通利用促進リーフレット（右）



出典：千葉市ホームページ「2024 ちばしエコライフカレンダー」、  
「公共交通利用促進リーフレット ～Smart & Enjoy CHIBA Life（スマチバ！）～」

## 施策1-5 公共交通の担い手不足への対応

公共交通ネットワークを守るためには運転士の確保が必要不可欠となりますが、小金井市内のバス・タクシー事業者の多くが人手不足の問題をかかえており、路線やサービスの縮小をせざるを得ない状況です。

このような状況を公共交通のあり方について関心を持ってもらうきっかけとして広く発信するとともに、事業者と連携し、運転士を確保することを目指します。

### ① 運転士不足の現状と課題の情報発信

- バス・タクシー事業者と連携し、市ホームページでバスサービスの変更状況や運転士不足の現状に関する情報発信を行い、市民と公共交通のあり方を共に考えるきっかけとします。
- 合わせて運転士の仕事の魅力や運転士の募集情報を発信することで、運転士の仕事に興味を持っていただくきっかけを作ります。

|         |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

## ②運転士確保についての働きかけ

- バス・タクシー事業者、多摩地域の他自治体及び東京都等と連携し、「こがねい★バスフェス」を始めとするイベント等にて運転士募集ブースを設置し、バス・タクシー運転士のイメージアップを図るとともに、新たな担い手の発掘を図るためのPRを行います。

|         |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

## = 運転士の確保事例 =

公共交通の担い手不足は全国でも喫緊の課題となっており、消防職員や自衛隊員の再就職、移住制度等との組み合わせによる取組も行われています。

### ① 桑名市

#### 消防職員が運転手に！

- 消防職員が60歳を迎えた際に、バスの運転手として働くことができる協定を締結。**全国初**。  
(R6年4月から。締結バス会社：三重交通。)
- 最長72歳まで雇用。
- 大型2種免許の取得費用はバス会社が負担。
- 消防職員は60歳以降は現場業務が体力的に厳しいこともあるが、運転手不足が深刻なバス会社にとっては、運転経験が豊富で地元の道路事情に詳しい人材が確保可能に。

出典：桑名市資料より国土交通省作成

### ② 北海道運輸局

#### 自衛隊員を運輸業界に！

- 北海道運輸局室蘭運輸支局で、深刻化する運輸業界の人手不足解消向け、即戦力として期待が掛かる自衛隊員向けの「再就職支援説明会」を実施。
- 自衛隊員の退職年齢は、一般的に55歳～57歳定年とやや早期に退職することに加え、自衛隊在職中に取得した様々な資格や技能を活かすことが可能。

国土交通省 第1回地域公共交通計画の実質化に向けた検討会（令和5年12月12日開催）  
資料1「「地域公共交通計画」の現状等」より

## = 自治体ホームページでの情報発信事例（東京都足立区） =

足立区では、路線バスの運転士不足の現状と問題点と合わせ、運行事業者の採用ホームページリンクを区ホームページに掲載しています。

出典：足立区ホームページ「求む！路線バスの運転士」

足立区 ADACHI CITY ホームに戻る

### 求む！路線バスの運転士



#### なくてはならない路線バスがピンチ！

広大な面積を有している足立区において、路線バスは重要な交通手段の一つです。  
民営バス7事業者と都営バスが多数の路線を運行しており、足立区民の生活の足となっています。  
しかし、バス運転士の「なりて不足」や「高齢化」は、都内においても例外ではなく、  
状況が改善されなければ、バス路線の減便や廃止につながり、交通利便が低下する恐れがあります。

#### バス運転士として働いてみませんか？



## 目標2 安全・安心で快適に移動できる環境をつくります

### 施策2-1 移動環境の改善

市内の公共交通（鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー）を誰もが利用しやすくなるよう、交通事業者や沿線施設、地域住民と協働して安全で快適な移動環境の構築を目指します。

| ①鉄道のバリアフリー化・安全確保の促進                                                                                                                                                                                     |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>鉄道事業者と連携し、鉄道駅のバリアフリー化を推進するとともに、車両内でのスペース確保やホームと車両の段差の解消など、安全・安心かつスムーズに鉄道を利用できる環境の構築を進めます。</li><li>鉄道利用時の安全確保に向けて、JR 中央線のホームドアの早期設置に向けて鉄道事業者への働きかけを行います。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                                    | 鉄道事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                                 | 市・都   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                                  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                                         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

| ②主要バス停でのバス待ち環境の改善                                                                                                          |         |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>鉄道駅等の市内の主要なバス停について、バス事業者等と連携し、交通安全上の課題などにも配慮した上で関係機関と協議を行い、上屋や椅子の設置を検討します。</li></ul> |         |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                       | バス事業者・市 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                    | —       |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                     | R7      | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                            | 検討中     |    |    |     |     |     |     |     |

| ③ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入促進                                                                                                                           |           |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>誰もが安心・安全で快適に利用できる、ユニバーサルデザイン（UD）タクシー車両の導入を推進します。</li><li>必要に応じて、事業者の取り組みの支援や、車両の利用について市民への周知を行います。</li></ul> |           |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                               | タクシー事業者・市 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                            | —         |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                             | R7        | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                    | 検討中       |    |    |     |     |     |     |     |

## 施策 2 - 2 公共交通利用マナーの向上

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が安心して公共交通を利用するためには、相互理解のためのコミュニケーションと、支え合いが重要となります。交通手段を安全に利用する方法の周知とともに、利用者同士の思いやりを醸成することで、誰もが気持ちよく公共交通を利用できる環境の構築を目指します。

①心のバリアフリーの推進

様々な利用者が安全・安心に公共交通を利用することができるよう、利用者同士での声かけを推進します。具体的には交通事業者や周辺自治体と連携し、ベビーカーでのバス利用や高齢者の着席など、場面に応じた声かけのポイントの周知やサポート月間の設定等を検討します。

実施主体

市・鉄道事業者・バス事業者

関連・連携機関

周辺自治体・関連団体

スケジュール

R7R8R9R10R11R12R13R14

検討中

②バス車内環境の改善

CoCo バスだよりや車内・バス停への掲示、車内アナウンスにより、CoCo バスの全座席が「思いやりシート」として、お年寄りや身体の不自由な方、乳幼児をお連れの方等の優先席となっていることを周知します。

バス事業者と連携し、バス利用に関する案内や対応について、運転士への教育を徹底します。また行き先や運賃、周辺施設へのアクセス方法などについて、車内の案内表示の見直し・拡充を行います。

実施主体

市・バス事業者

関連・連携機関

地域住民

スケジュール

R7R8R9R10R11R12R13R14

検討中

③交通ルール・マナーの向上

教育機関等と連携し、公共交通を利用することのメリットや重要性を伝えます。また、バス利用時や、自転車、シェアサイクル・電動キックボード等の多様な交通手段に対応した交通安全教育を行います。

自転車利用者に対しては、ヘルメット着用が努力義務であることの周知啓発を行い、ヘルメット着用率の向上を目指します。

春秋の交通安全週間のイベント等と連携することで、あらゆる世代に対して自動車、歩行者、自転車といった様々な目線からの安全教育を行います。

実施主体

市

関連・連携機関

教育機関・バス事業者・警察

スケジュール

R7R8R9R10R11R12R13R14

検討中



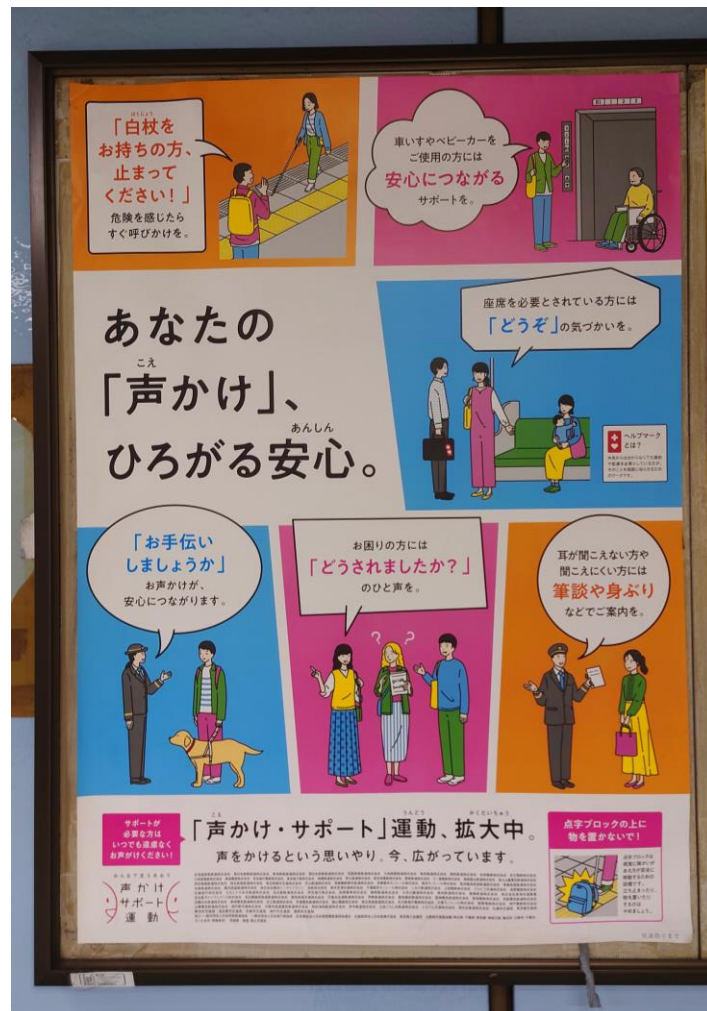
## ＝心のバリアフリーとは＝

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。高齢者、障害者等が安心して日常生活や社会生活ができるようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者、障害者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要とされています。

出典：国土交通省ホームページ「心のバリアフリー/障害の社会モデル」より

## ＝「声かけ・サポート」運動 強化キャンペーンの実施事例＝

全国の交通事業者及び障がい者団体等が連携し、鉄道などの施設を安全に安心して利用いただけるよう、周囲の利用者からも声かけに協力いただく取組を行っています。



## 施策 2 - 3 情報提供の充実化

小金井市内では5社の路線バス、ムーバスと CoCo バスが運行しています。駅やバス停の他、お出かけ前にもスマートフォンやマップで運行状況が確認できるよう、情報提供の充実化を目指します。

また小金井市では、公共交通については交通部門、高齢者や障がい者の移動支援については福祉部門が所管しています。移動ニーズに応じて適切に手段を選択できるよう、連携した支援を行います。

①リアルタイム運行情報の提供

市内を運行する路線バスやコミュニティバスの運行情報をリアルタイムに確認できるようにするため、バス事業者と連携し、標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP、GTFS リアルタイム）に従ってオープンデータ化を推進します。

現在、CoCo バスは京王バスのホームページ（バスナビ） から位置情報を確認できますが、CoCo バス・ミニ（野川・七軒家循環）は未対応です。運行事業者と連携し、位置情報や乗車状況の提供に向けた検討を行います。

|         |         |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市・バス事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | —       |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7      | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中     |    |    |     |     |     |     |     |

②公共交通マップの更新

小金井市内のコミュニティバス「CoCo バス」・路線バス・タクシー・鉄道を利用いただくために、公共交通マップを作成しています。CoCo バスの再編時に市民への全戸配布をし、以降は転入者への市窓口での配布、市の公共施設での配布を行っています。これらのマップの情報更新を行うとともに、よりわかりやすく必要な情報が得られるよう、改善を図ります。

来訪や居住の状況を踏まえ、必要に応じてマップの多言語化も検討します。

|         |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

③移送サービス情報の集約、周知

心身の特性や移動の状況に応じて公共交通と福祉交通を適切に選択できるよう、市の交通部門と福祉部門が連携して移送サービスに関わる情報の集約、周知を行います。

高齢者や障がい者の移動における課題や移動ニーズは、包括支援センター・障害者地域自立生活支援センターと連携し、意見の集約を図るとともに、改善や工夫のための施策を連携して検討します。

|         |                          |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|--------------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市                        |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 包括支援センター・障害者地域自立生活支援センター |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7                       | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中                      |    |    |     |     |     |     |     |

## 施策2-4 歩行空間・自転車利用環境の形成

小金井市はJR中央線を軸としたコンパクトなまちが形成されていますが、歩道が狭い、または歩道が無い道路も多い状況です。また、近年整備が進められている自転車走行空間の整備も限定的です。

バス停や駅への移動、またベビーカーや車いすでの移動もしやすくなるよう、道路事業と連携した歩行空間・自転車利用環境の形成を目指します。

| ①無電柱化事業と合わせた歩道の補修、改善                                                                                                                |     |    |    |     |     |     |     |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>小金井市無電柱化推進計画に基づき、歩行者や車いすの通行を妨げる要因である電柱の地中化を推進します。併せて歩道の補修や改善を行い、安全・快適な歩行環境の形成を進めます。</li></ul> |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                | 市・都 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                             | —   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                              | R7  | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                     | 検討中 |    |    |     |     |     |     |     |

| ②自転車総合計画の策定による走行空間の確保、安全利用の推進                                                                                                                |     |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>自転車走行空間の確保と安全利用の推進に向けて、小金井市自転車総合計画（仮称）の策定に取り組みます。市内の公共交通と自転車の接続を考慮し、優先して整備すべき路線及び整備形態を検討します。</li></ul> |     |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                         | 市   |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                      | —   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                       | R7  | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                              | 検討中 |    |    |     |     |     |     |     |

## 目標3 地域の魅力向上のために

### 移動に便利なまちの拠点をつくります

#### 施策3-1 乗り継ぎ・乗り換え機能の強化

小金井市では、JR 武蔵小金井駅が南北のバス路線の大きな乗り継ぎ拠点となっており、バス路線が集中している状況です。一方で、定時性や運行頻度、路線の複雑さから特にバス同士の乗り継ぎには抵抗が大きい傾向にあります。

JR 中央線沿線では、JR 武蔵小金井駅・東小金井駅周辺のまちづくり事業や新庁舎等の建設が進められており、交通集中が見込まれます。

多様な交通手段を集約し、自由に選択できるよう、また公共交通ネットワークを最大限活用できるよう、乗り継ぎ・乗り換えについて時間的・心理的な抵抗を軽減させるための環境・情報の整備を行います。

| ①乗り継ぎ・乗り換え拠点の整備                                                       |             |    |    |     |     |     |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ・ 武蔵小金井駅・東小金井駅周辺のまちづくり事業や新庁舎等の建設に合わせ、バスやタクシーの利用が円滑となるよう、バス停の配置を検討します。 |             |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                  | 市           |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                               | バス事業者・鉄道事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                | R7          | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                       | 検討中         |    |    |     |     |     |     |     |

| ②駅前広場の維持・管理                                                                |             |    |    |     |     |     |     |     |
|----------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ・ 武蔵小金井駅・東小金井駅・新小金井駅の駅前広場は、市が継続して維持管理を行うとともに、利便性の向上のため、利用状況や改善ニーズの把握に努めます。 |             |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                       | 市           |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                    | バス事業者・鉄道事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                     | R7          | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                            | 検討中         |    |    |     |     |     |     |     |

| ③地域の乗り継ぎ拠点の設置検討                                                                                       |           |    |    |     |     |     |     |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ・ シェアリング事業者との協議により、新庁舎や大規模公園・大学等の拠点施設やバス停周辺では、公共交通を利用したあと、自宅や目的地までのあと一歩の移動を支援するためにシェアリングボートの設置を推進します。 |           |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                  | シェアリング事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                               | 市         |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                | R7        | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                       | 検討中       |    |    |     |     |     |     |     |

【再掲】施策1－3 ①移動に関する情報提供

【再掲】施策2－1 ②主要バス停でのバス待ち環境の改善

【再掲】施策2－3 ①リアルタイム運行情報の提供

【再掲】施策2－3 ②公共交通マップの更新

### ＝地域の乗り継ぎ拠点の整備事例＝

杉並区では、区役所敷地内に複数のシェアサイクルのポートを設置しています。  
世田谷区では、ENEOSによる実証実験等を経て、電動二輪向けバッテリーのシェアリングサービスを提供する「ENEOSマルチモビリティステーション」が設置されています。

■ 杉並区役所（左）、ENEOSマルチモビリティステーション（右）





## 施策 3-2 乗り継ぎ・乗り換え拠点における情報提供の充実化

多様な利用者が集まる鉄道駅等の乗り継ぎ・乗り換え拠点では、市民や国内外の来訪者などの誰もがスムーズに乗り継ぎ・乗り換えができるわかりやすい情報提供を目指します。

### ①駅や主要バス停でのわかりやすい情報提供

- JR 武蔵小金井駅南口ロータリーでは、バス事業者との連携により、デジタルサイネージを設置しました。バス乗り場やお知らせだけでなく、発車時間をリアルタイムに表示するため、次に発車するバスの時間が一目で分かります。
- 系統ごとに乗り場が分散している鉄道駅ロータリーでは、どの乗り場から、どのバスに乗って、どのように運賃を支払えばよいのかなど、バスの利用に関する情報をわかりやすく示します。
- 南北の出口によってバスの行き先が異なる JR 武蔵小金井駅、JR 東小金井駅では、鉄道事業者と連携し、改札近くで主要なバス乗り場を把握できる案内表示の方法を検討します。

|         |         |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市・バス事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 鉄道事業者   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7      | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中     |    |    |     |     |     |     |     |

### ②多様な主体への案内機能の強化

- 鉄道駅等の乗り継ぎ・乗り換え拠点においては、デジタルサイネージを活用し、外国人観光客を含めた国内外の来訪者に向けた案内機能を強化します。立ち寄り先の情報などについては、市の観光部門と連携し、周辺地域も含めた周遊情報の提供を検討します。

|         |         |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市・バス事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | —       |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7      | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中     |    |    |     |     |     |     |     |

## = デジタルサイネージによる多言語案内事例（葛西臨海公園駅） =

京成バスでは、多言語対応のデジタルサイネージを活用し、バスの運行情報に加えて周辺の観光情報等を提供するなど外国人観光客を含めた利用者の利便性向上に取り組んでいます。

出典：第1回 バスタプロジェクト推進検討会 配付資料2「バスを中心とした交通結節点に関する参考事例」



※表示画面の情報は平成29年3月21日時点  
出典：京成バス株式会社 News Release（平成29年3月21日）

## 目標4 新たな技術等の効果的な活用に向けた検討を行います

### 施策4-1 新技術の活用に向けた検討

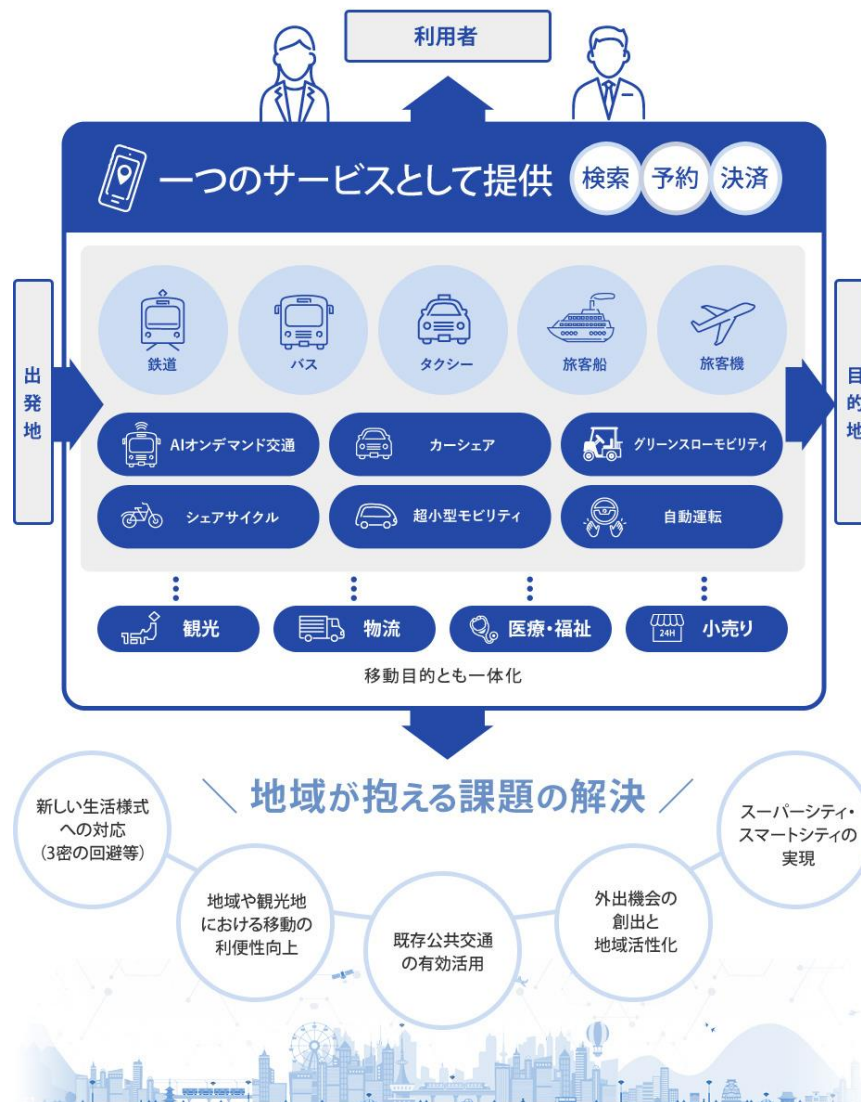
近年、交通における新たな技術の活用動向が目まぐるしく変化しており、小金井市内においても電動キックボード・シェアサイクル等のシェアリングサービスの参入が進んでいます。近隣自治体では MaaS や自動運転の実証実験なども実施されており、これらの新技術について、小金井市の交通の状況を鑑みて、適切に対応していく必要があります。

| ①新技術の活用に備えた関係者協議の場づくり                                                                                                  |       |    |    |     |     |     |     |     |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>公共交通連携（MaaS 等）や、最新の法制度改正（自動運転等）等に備え、必要に応じて関係者協議の場を設け、新たな技術の研究・調査を行います。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |  |
| 実施主体                                                                                                                   | 市     |    |    |     |     |     |     |     |  |
| 関連・連携機関                                                                                                                | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |  |
| スケジュール                                                                                                                 | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |  |
|                                                                                                                        | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |  |

| ②民間資源の活用・連携                                                                                                                                  |       |    |    |     |     |     |     |     |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>新たな移動手段や仕組みの導入には、民間事業者との連携が不可欠となります。これらが小金井市内で適切に活用されるよう、小金井市内でのサービス提供にあたっては協定等により取り決めを行います。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |  |
| 実施主体                                                                                                                                         | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |  |
| 関連・連携機関                                                                                                                                      | 市     |    |    |     |     |     |     |     |  |
| スケジュール                                                                                                                                       | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |  |
|                                                                                                                                              | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |  |

## = MaaS とは =

MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。



出典：国土交通省ホームページ「MaaS とは」



## 施策4-2 シェアモビリティの適切な活用

シェアモビリティは、専用のポートであればどのポートからでも自由に借出、返却が可能なサービスです。小金井市内や周辺地域で電動自転車や電動キックボードの他、電動スクーターや二人乗り用の小さな電動自動車など、様々な手段のシェアリングが行われています。鉄道駅やバス停から自宅や目的地までなど、公共交通を補完する自由な移動手段として、シェアモビリティが適切に活用されることを目指します。

### ①既存公共交通との役割分担の上での利用促進

- シェアモビリティはモーターのアシストにより、市域を超えるような短中距離の移動も容易になりますが、公共交通の持続可能性を確保するためには路線バスやコミュニティバス、タクシーとの役割分担・連携が必要です。シェアモビリティの参入にあたっては、事業者と協定を締結するなどにより、役割分担・連携を明確にします。
- その上で、公共施設の敷地（市役所や市立公園、市立自転車駐車場等）の一部をサイクルポートとして民間のシェアモビリティ運営事業者に貸し出すなど、公民連携による効率的なポート設置を行います。

|         |             |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|-------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 市           |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | シェアモビリティ事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7          | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中         |    |    |     |     |     |     |     |

### ②安全利用の促進

- シェアモビリティは多様な種類に及ぶため、各モビリティの特性に応じた乗り方や走行において注意・配慮すべき事項等について、事業者によるマナー教育の徹底を要請します。
- 事業者や都と連携し、交通安全・マナー向上・利用促進のためのイベントの実施を検討します。

|         |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 実施主体    | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関 | 市・都   |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |



### = 電動キックボードの交通安全・体験イベントの実施事例 =

東京都では、令和5年7月から適用された「特定小型原動機付自転車（特定原付）」に該当する電動キックボードの新ルールを周知するため、警視庁や関係団体等と連携し、電動キックボードの安全利用啓発イベントを実施しました。

合わせて電動キックボードの試乗コーナーや運転免許返納相談会も実施しています。

出典：東京都生活文化スポーツ局ホームページ  
「電動キックボード交通安全イベントの開催」

### 施策４－３ 環境にやさしい車両の導入支援

国や東京都では、運輸部門の二酸化炭素排出量の削減を図るため、タクシーやバスの電動化を進めています。

小金井市においても「第２次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。市内を走行する車両について、環境にやさしい車両の導入を進め、低炭素社会への寄与を目指します。

| ①環境にやさしい車両の導入支援                                                                                                                         |         |    |    |     |     |     |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>コミュニティバスの車両の入替時に電気バス（ＥＶ）等の導入を検討します。</li><li>市内のバス事業者及びタクシー事業者に対し、国や東京都の補助の案内や申請支援を行います。</li></ul> |         |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                    | 市・交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                 | —       |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                  | R7      | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                         | 検討中     |    |    |     |     |     |     |     |

| ②充電・充填施設の整備支援                                                                                                                   |       |    |    |     |     |     |     |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>市の環境部門と連携し、公共施設への急速充電設備や水素ステーションの整備、主要な商業施設等と連携した整備など、次世代自動車を利用しやすい環境づくりを検討します。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                            | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                         | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                          | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                 | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

#### 施策4-4 公共交通に関するオープンデータのまちづくりへの活用

公共交通に関する情報のオープンデータ化（誰もが編集・加工等がしやすい形で、インターネットで公開すること）を行うことで、経路検索サービスや大手地図サイト等で運行情報を検索できるようになります。

公共交通利用者の利便性向上に加え、まちづくりへの活用を目指し、事業者によるオープンデータ化、および行政によるデータ活用の検討を行います。

| ①オープンデータ化の促進                                                                                                                            |       |    |    |     |     |     |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>鉄道、バスに加え、新規に参入するシェアモビリティ事業者に対しても、標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP、GTFS リアルタイム）に従ってオープンデータ化を推進します。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                    | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                 | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                  | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                         | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

| ②まちづくりへの活用に向けたデータ収集・活用の検討                                                                                                                                                                 |       |    |    |     |     |     |     |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"><li>公共交通に関するデータを収集し、まちづくりへの活用に取り組みます。国や東京都の研究結果等を確認し、バスの利用状況の把握や遅延の改善などへの活用可能性を検討します。</li><li>必要に応じて、交通事業者との調整により、まちづくりへの活用が行いやすいデータの収集を行います。</li></ul> |       |    |    |     |     |     |     |     |
| 実施主体                                                                                                                                                                                      | 市     |    |    |     |     |     |     |     |
| 関連・連携機関                                                                                                                                                                                   | 交通事業者 |    |    |     |     |     |     |     |
| スケジュール                                                                                                                                                                                    | R7    | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |
|                                                                                                                                                                                           | 検討中   |    |    |     |     |     |     |     |

## = バスの運行データの活用事例 =

全国のバス事業者や自治体で、「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」の活用が進んでいます。データを整備することで、運行情報が迅速に世界中の経路探索サービスへ反映されます。利用者の利便性向上だけでなく、自治体や事業者による交通分析や運営の効率化への活用も期待されます。

### 2 岐阜県中津川市

動的  
コミバス

市内のバス路線の「GTFS-JP」「GTFS-RT」データを整備しオープン化  
多言語整備しインバウンド需要に対応、デジタルサイネージも低コストで導入



#### 標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）

2017年3月に国土交通省が定めた形式  
バス停の位置情報、時刻表、ルート、運賃などの複数の CSV ファイルを格納した ZIP ファイル

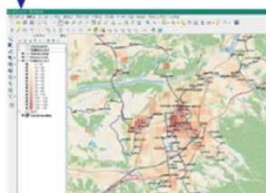
GTFS-JP のオープンデータ化→バスの活性化に



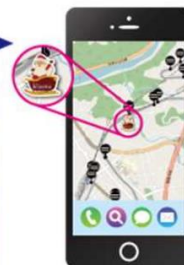
スマホで経路検索  
インターネットで  
バス経路の検索が  
可能に



サイネージで運行案内  
バス車両の現在位置情報など  
を組み合わせ、リアルタイム  
で運行情報を案内



調査・分析の基礎データ  
GTFS-JP と国勢調査 5 次メッ  
シュ人口を利用した、高齢者  
の人口分布とバスサービスの  
可視化の例



クリスマスバスでバスロケ  
単なる移動手段ではない  
「愉しみの公共交通」の  
創出と、公共交通の魅力を  
引き出す

中津川市「公共交通オープンデータ」最先端田舎への挑戦  
<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/page/083350.html>

出典：国土交通省「標準的なバス情報フォーマット」ダイジェスト（2021年9月30日）より

## 6章 | 計画の推進

### 1 達成状況の指標

本計画における目標の達成状況を評価するための成果指標（案）、および達成に向けた進捗を管理するためのモニタリング指標（案）を設定しました。

成果指標として、以下の5つを設定しています。

|        | 項目                                                      | 現状値 | 目標値 | アウトプット<br>/アウトカム | データの取得方法                                              |
|--------|---------------------------------------------------------|-----|-----|------------------|-------------------------------------------------------|
| ■ 成果指標 |                                                         |     |     |                  |                                                       |
| 1      | 公共交通利用者数（鉄道・バス）<br>※人口比としても可                            | 検討中 |     | アウトカム            | 鉄道：各事業者 HP<br>路線バス：各業者から市内系統の利用者数を提供<br>コミュバス：市の取得データ |
| 2      | 市内公共交通の満足度                                              |     |     | アウトカム            | 満足度：市民意向調査もしくは市長への手紙<br>（現項目：市内公共交通における利便性への満足度）      |
| 3      | 駅、バス停、車内などにおける環境整備及び情報提供の取組み件数                          |     |     | アウトプット           | 回数：市、事業者で把握                                           |
| 4      | 乗り継ぎ拠点（ベンチ設置など細かいものからシェアポートや広場整備など大きいものまで含む）の整備数（改修・新設） |     |     | アウトプット           | 整備数：市、事業者で把握                                          |
| 5      | 新たな技術の活用に向けた検討・協議体数                                     |     |     | アウトプット           | 協議体（委員会など）数：市、事業者で把握                                  |

モニタリング指標は、目標ごとに以下の通り設定しています。事業の進捗等を管理するため、目標値は設定しません。

|            | 項目                           | アウトプット<br>/アウトカム | データの取得方法                                            |
|------------|------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------|
| ■ モニタリング指標 |                              |                  |                                                     |
| 目標 1       |                              |                  |                                                     |
| 1          | 交通カバー圏域の割合（不便地域でない地域/市域）     | アウトカム            | 位置情報：国土基盤情報<br>運行本数（バス）：HP 等で把握                     |
| 2          | イベント回数（周辺市連携、利用促進、採用の合計）     | アウトプット           | 回数：市、事業者で把握                                         |
| 目標 2       |                              |                  |                                                     |
| 3          | 安全に移動できていると感じる割合             | アウトカム            | 割合：市民意向調査もしくは市長への手紙<br>（現項目：市内を安全に移動できていると感じる市民の割合） |
| 4          | 市内交通事故件数                     | アウトカム            | 件数：警視庁の統計（警察署別の交通事故発生状況）                            |
| 5          | 市内タクシー事業者の保有台数に対するUD タクシーの割合 | アウトプット           | 割合：事業者から提供                                          |
| 目標 3       |                              |                  |                                                     |
| 6          | 公共施設へのシェアモビリティポート設置数         | アウトプット           | ポート数：市、事業者で把握                                       |
| 目標 4       |                              |                  |                                                     |
| 7          | EV バス等の導入数                   | アウトプット           | 新規導入数：市、事業者で把握                                      |
| 8          | 公共交通オープンデータセンターに加盟している事業者数   | アウトプット           | 登録数：事業者から提供                                         |

## 小金井市公共交通事業者継続支援金事業実施状況について

### 1 事業目的

エネルギー等の物価高騰の影響を受け、事業維持のための経費捻出について非常に厳しい状況に置かれている交通事業者に対し、公共交通事業者継続支援金を交付することにより、事業継続を支援し、もって市民の日常生活に不可欠な地域の交通手段の確保に寄与することを目的とする。

### 2 実施状況（概要）

①受付期間 令和6年1月10日（水）から令和6年1月31日（水）まで

※事務処理の都合上、受付期間を設定したが、要綱上3月末まで有効であるため、上記期間を超えても受け付けた。

②実施状況 申請件数 10件／交付決定 10件 詳細は以下のとおり

| 事業種別        | 申請件数 | 交付決定 | 不交付決定 |
|-------------|------|------|-------|
| バス事業者       | 6件   | 6件   | 0件    |
| タクシー事業者（法人） | 4件   | 4件   | 0件    |
| 合計          | 10件  | 10件  | 0件    |

### 3 支援金交付内訳

公共交通事業者継続支援金及び本事業に伴う郵便料の執行状況については以下のとおり。  
支援金の執行率は96%を超えており、ほぼ事前に見込んだ内容に近い事業執行となった。

#### ・公共交通事業者継続支援金

| 事業種別        | 支援金額      | 予算額(※1)   | 予算残額    | 執行率   |
|-------------|-----------|-----------|---------|-------|
| バス事業者       | 5,500,000 | 5,500,000 | 0       | 100.0 |
| タクシー事業者（法人） | 3,120,000 | 3,400,000 | 280,000 | 91.8  |
| 合計          | 8,620,000 | 8,900,000 | 280,000 | 96.9  |

#### ・郵便料

|     | 執行済額 | 予算額(※1) | 執行率   |
|-----|------|---------|-------|
| 郵便料 | 756  | 1,000   | 75.6% |

(※1) 公共交通事業者継続支援金にかかる補正予算額

# 令和5年度CoCoバス利用実績等について(速報値)

## 1 令和5年度CoCoバス補助金について

(単位：円)

| ルート名     | (C) = (A) - (B) |             |             | 補助金額       | 収支率   |
|----------|-----------------|-------------|-------------|------------|-------|
|          | 収入 (A)          | 運行経費 (B)    | 収支 (C)      |            |       |
| 北東部循環    | 44,447,755      | 51,750,357  | △7,302,602  | 48,042,901 | 85.9% |
| 貫井前原循環   | 22,736,656      | 37,836,139  | △15,099,483 |            | 60.1% |
| 東町循環     | 12,533,672      | 34,430,731  | △21,897,059 |            | 36.4% |
| 中町循環     | 19,389,833      | 23,133,590  | △3,743,757  |            | 83.8% |
| 野川・七軒家循環 | 3,358,022       | 25,135,960  | △21,777,938 | 21,777,938 | 13.4% |
| 合計       | 102,465,938     | 172,286,777 | △69,820,839 | 69,820,839 | 59.5% |

## 2 利用者数の経年比較

(単位：人)

| ルート名     | H30 年度    | R 元年度     | R 2 年度  | R 3 年度  | R 4 年度  | R 5 年度  |
|----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|
| 北東部循環    | 516,571   | 477,777   | 310,331 | 373,834 | 418,205 | 404,950 |
| 貫井前原循環   | 220,400   | 209,010   | 150,644 | 165,104 | 184,665 | 176,329 |
| 東町循環     | 104,495   | 95,686    | 61,804  | 72,185  | 86,760  | 80,986  |
| 中町循環     | 153,183   | 151,073   | 105,854 | 119,308 | 135,620 | 146,114 |
| 野川・七軒家循環 | 92,215    | 90,546    | 59,835  | 64,381  | 74,299  | 59,842  |
| 合計       | 1,086,864 | 1,024,092 | 688,468 | 794,812 | 899,549 | 868,221 |

## 3 補助金に係る収支状況の経年推移

(単位：円)

| ルート名     | 項目   | H30 年度     | R 元年度      | R 2 年度     | R 3 年度     | R 4 年度     | R 5 年度     |
|----------|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 北東部循環    | 補助金額 | △2,226,093 | 1,565,784  | 18,077,467 | 10,909,048 | 11,504,733 | 7,302,602  |
|          | 収支率  | 104.8%     | 96.6%      | 62.2%      | 76.4%      | 77.5%      | 85.9%      |
| 貫井前原循環   | 補助金額 | 15,039,404 | 15,666,864 | 22,453,836 | 22,733,153 | 24,365,835 | 15,099,483 |
|          | 収支率  | 57.7%      | 55.1%      | 37.9%      | 40.8%      | 41.8%      | 60.1%      |
| 東町循環     | 補助金額 | 10,947,712 | 11,513,453 | 15,441,439 | 16,408,754 | 18,121,831 | 21,897,059 |
|          | 収支率  | 47.2%      | 43.8%      | 26.6%      | 29.4%      | 31.2%      | 36.4%      |
| 中町循環     | 補助金額 | 5,454,986  | 5,881,229  | 10,972,686 | 11,388,003 | 11,710,714 | 3,743,757  |
|          | 収支率  | 72.9%      | 70.5%      | 46.4%      | 49.8%      | 52.3%      | 83.8%      |
| 野川・七軒家循環 | 補助金額 | 9,948,767  | 9,758,307  | 12,311,142 | 15,961,349 | 17,339,577 | 21,777,938 |
|          | 収支率  | 46.2%      | 46.6%      | 30.7%      | 26.7%      | 27.6%      | 13.4%      |
| 合計       | 補助金額 | 39,164,776 | 44,385,637 | 79,256,570 | 77,400,307 | 83,042,690 | 69,820,839 |
|          | 収支率  | 72.3%      | 68.3%      | 44.7%      | 49.2%      | 50.5%      | 59.5%      |

※収入は、広告収入も含む（野川・七軒家循環を除く）。

※令和5年度の回数券販売額の振り分けは、以下のとおり。

①ふじかわフォトサービス、ひがこ日和、京王バス府中営業所販売分：北東部、貫井前原、東町、中町循環に按分し計上。②つくば観光交通本社販売分：野川・七軒家循環に計上。

※運行経費は、日々の運行に必要な経費及び車両償却費・ガードマンに係る費用の全てを含む。

※パーセンテージは、小数点第2位を四捨五入。



施策と指標の対応関係

参考 1

| 施策                                | 事業                                                                                                                                     |    | 候補     | アウトプット<br>/アウトカム                  | 指標                                                      | 増減 | データの取得方法                                             |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------|
| 目標 1 持続可能な地域公共交通ネットワークを確保します      |                                                                                                                                        |    |        | 目標 1 持続可能な地域公共交通ネットワークを確保します      |                                                         |    |                                                      |
| ◆持続可能な公共交通ネットワークの構築               | ・路線バスのネットワーク維持・改善に向けた連携<br>・地域の多種・多様な移動手段の連携<br>・公共交通の現状に関する情報発信                                                                       | 1  | 成果     | アウトカム                             | 公共交通利用者数（鉄道・バス）<br>※人口比としても可                            | 増加 | 鉄道：各事業者HP<br>路線バス：各業者から市内系統の利用者数を提供<br>コミュバス：市の取得データ |
| ◆コミュニティバスの効果的な活用                  | ・CoCoバスガイドラインの継続的な運用<br>・CoCoバスだよりの発行<br>・CoCoバスサポーターの導入検討                                                                             | 2  | モニタリング | アウトカム                             | 交通カバー圏域の割合（不便地域でない地域/市域）                                | ―  | 位置情報：国土基盤情報<br>運行本数（バス）：HP等で把握                       |
| ◆公共交通不便地域への対応                     | ・移動に関する情報提供<br>・タクシー等の有効活用に向けた新たな制度の調査・研究                                                                                              | 3  | 成果     | アウトカム                             | 市内公共交通の満足度                                              | 増加 | 満足度：市民意向調査もしくは市長への手紙<br>（現項目：市内公共交通における利便性への満足度）     |
| ◆公共交通の利用促進                        | ・公共交通利用の啓発<br>・運転免許返納後の公共交通利用促進<br>・多様な世代に向けた公共交通利用促進                                                                                  | 4  | モニタリング | アウトプット                            | イベント回数（周辺市連携、利用促進、採用の合計）                                | ―  | 回数：市、事業者で把握                                          |
| ◆公共交通の担い手不足への対応                   | ・運転士不足の現状と課題の情報発信<br>・運転士確保についての働きかけ                                                                                                   |    |        |                                   |                                                         |    |                                                      |
| 目標 2 安全・安心で快適に移動できる環境をつくれます       |                                                                                                                                        |    |        | 目標 2 安全・安心で快適に移動できる環境をつくれます       |                                                         |    |                                                      |
| ◆移動環境の改善                          | ・鉄道のバリアフリー化・安全確保の促進<br>・主要バス停でのバス待ち環境の改善<br>・ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入促進                                                                   | 5  | モニタリング | アウトカム                             | 安全に移動できていると感じる割合                                        | ―  | 割合：市民意向調査もしくは市長への手紙<br>（現項目：市内を安全に移動できていると感じる市民の割合）  |
| ◆公共交通利用マナーの向上                     | ・心のバリアフリーの推進<br>・バス車内環境の改善<br>・交通ルール・マナーの向上                                                                                            | 6  | モニタリング | アウトカム                             | 市内交通事故件数                                                | ―  | 件数：警視庁の統計（警察署別の交通事故発生状況）                             |
| ◆情報提供の充実化                         | ・リアルタイム運行情報の提供<br>・公共交通マップの更新<br>・移送サービス情報の集約、周知                                                                                       | 7  | 成果     | アウトプット                            | 駅、バス停、車内などにおける環境整備及び情報提供の取組み件数                          | 増加 | 回数：市、事業者で把握                                          |
| ◆歩行空間・自転車利用環境の形成                  | ・無電柱化事業と合わせた歩道の補修、改善<br>・自転車総合計画の策定による走行空間の確保、安全利用の推進                                                                                  | 8  | モニタリング | アウトプット                            | 市内タクシー事業者の保有台数に対するUDタクシーの割合                             | ―  | 割合：事業者から提供                                           |
| 目標 3 地域の魅力向上のために移動に便利なまちの拠点をつくれます |                                                                                                                                        |    |        | 目標 3 地域の魅力向上のために移動に便利なまちの拠点をつくれます |                                                         |    |                                                      |
| ◆乗り継ぎ・乗り換え機能の強化                   | ・乗り継ぎ・乗り換え拠点の整備<br>・駅前広場の維持・管理<br>・地域の乗り継ぎ拠点の設置検討<br>・【再掲】移動に関する情報提供<br>・【再掲】主要バス停でのバス待ち環境の改善<br>・【再掲】リアルタイム運行情報の提供<br>・【再掲】公共交通マップの更新 | 9  | 成果     | アウトプット                            | 乗り継ぎ拠点（ベンチ設置など細かいものからシェアポートや広場整備など大きいものまで含む）の整備数（改修・新設） | 増加 | 整備数：市、事業者で把握                                         |
| ◆交通結節点における情報提供の充実化                | ・駅や主要バス停でのわかりやすい情報提供<br>・多様な主体への案内機能の強化                                                                                                | 10 | モニタリング | アウトプット                            | 公共施設へのシェアモビリティポート設置数                                    | ―  | ポート数：市、事業者で把握                                        |
| 目標 4 新たな技術等の効果的な活用に向けた検討を行います     |                                                                                                                                        |    |        | 目標 4 新たな技術等の効果的な活用に向けた検討を行います     |                                                         |    |                                                      |
| ◆新技術の活用に向けた検討                     | ・新技術の活用に備えた関係者協議の場づくり<br>・民間資源の活用・連携                                                                                                   | 11 | 成果     | アウトプット                            | 新たな技術の活用に向けた検討・協議体数                                     | 増加 | 協議体（委員会など）数：市、事業者で把握                                 |
| ◆シェアモビリティの適切な活用                   | ・既存公共交通との役割分担の上での利用促進<br>・安全利用の促進                                                                                                      | 12 | モニタリング | アウトプット                            | EV・FCVバス（ゼロエミッションバス）の導入数                                | ―  | 新規導入数：市、事業者で把握                                       |
| ◆環境にやさしい車両の導入支援                   | ・環境にやさしい車両の導入支援<br>・充電・充填施設の整備支援                                                                                                       | 13 | モニタリング | アウトプット                            | 公共交通オープンデータセンターに加盟している事業者数（オープンデータ化に関する指標）              | ―  | 登録数：事業者から提供                                          |
| ◆公共交通に関するオープンデータのまちづくりへの活用        | ・オープンデータ化の促進<br>・まちづくりへの活用に向けたデータ収集・活用の検討                                                                                              |    |        |                                   |                                                         |    |                                                      |



三寒四温を繰り返しながら、ようやく春らしくなってきました。



3月3日撮影

CoCo バス中町循環の八重垣稲荷神社バス停では、2月上旬から3月上旬に見頃を迎える早咲きの桜・河津桜がとても綺麗に咲いていました。

お花見の計画を立てている皆さん、まだ寒さが残る時期ですので、防寒対策を忘れないようにしてくださいね。



## ココバス利用者アンケート結果公開中

現在、地域公共交通計画策定に取り組んでいます。この度市ホームページに専用のページを追加しました。CoCo バス利用者アンケートの集計結果等も公開しています。

こちらから  
ご覧ください↓



## 一日乗車券でバス旅しよう

CoCo バス車内では、500 円で全路線 1 日乗り放題の 1 日乗車券を販売しています。

(小児も同額)

大人の方(180 円)が 1 日 3 回以上乗車する場合、1 日乗車券が大変お得です。

公園のはしごや話題のお店めぐり、食べ歩きに使うもよし、ぶらり途中下車の旅に使うもよし、この春は、路線図と時刻表を片手にバス旅を楽しみましょう！

乗車日をコイン等で  
削って使うよ



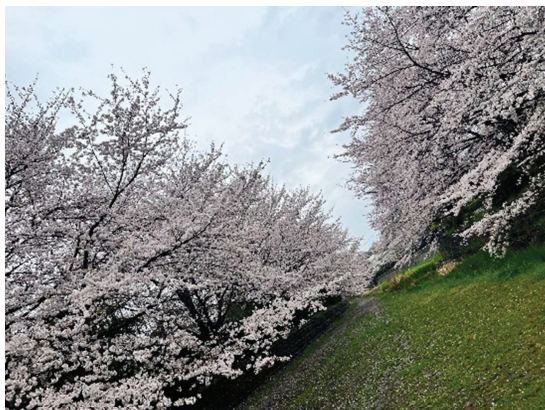
CoCo バス  
de  
CoCo 行こう！

## 野川沿いの桜

【貫井前原循環】

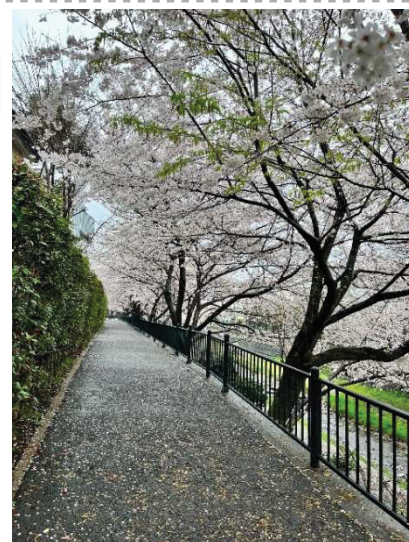
⑥前原小学校前 → ⑬貫井南町四丁目

小金井市の花は「サクラ」であるように、小金井市には桜の名所がたくさんあります。お花見スポットといえば小金井公園が有名ですが、今回おすすめするのは、野川沿いの桜を歩いて堪能するコースです。



貫井前原循環「前原小学校前」バス停で降り、ココバスルート沿いを200mほど歩くと野川に出ます。

そこから「貫井南町四丁目」バス停まで約1km、ソメイヨシノのトンネルをくぐりながら歩く川沿いの道はまさに圧巻です。例年、一足早く3月中に入学記念の写真を撮影しているお子さんの姿もよく見かけます。撮影にはもってこいの場所ですよ。





スマート  
に乗るなら



# 回数券

が便利です



## 一般回数券



3,000 円

90 円券 35 枚綴り (3,150 円分)

※乗車の際、小児は1枚、大人の場合  
は2枚使用

ポイント

150 円分お得♪



## 高齢者専用回数券



1,000 円

100 円券 10 枚綴り

※介護保険被保険者証を提示のう  
え、販売店で購入してください。

回数券で乗車する場合、介護保険被  
保険者証を毎回携帯する負担がな  
いため、大変便利です。

## 回数券ってどこで買えるの？



ポイント

CoCo バスだよりや路線ごと  
の時刻表も置いてあるよ♪

回数券は、以下の4か所のみでの販売となります。

●京王バス府中営業所 ●つくば観光交通本社 ●ふじかわフォトサービス ●ひがこ日和  
特にお問い合わせの多い2店舗について、最寄り駅からの行き方を写真付きでご紹介します↓

### ふじかわフォトサービス (武蔵小金井駅南口)

営業日時: 年中無休(年始等を除く)  
10 時~19 時



緑色のロゴ



武蔵小金井駅南口を出て、右へ。



道なりに歩いていくと、正面にマクドナルドが  
みえます。



マクドナルドの隣が“ふじかわフォトサービス”  
です。緑色のロゴが目印。

### ひがこ日和 (東小金井駅南口)

営業日時: 月曜日~土曜日  
8 時~18 時

営業時間が延びました

オレンジ色の看板



東小金井駅南口を出て、右へ。



道なりに歩き、くりやま通りを30メートルほど  
進みます。



右手にセブンイレブン、その向かいのお店が  
“ひがこ日和”です。オレンジ色の看板が目印。